

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	3 7 5
		決裁期日	平成 1 9 年 1 1 月 2 7 日
名 称	第 1 4 回政策調整会議		
日 時	平成 1 9 年 1 1 月 2 7 日 (火) 午前 9 時 00 分 ~ 午前 9 時 50 分		
場 所	役場 2 階 審議室		
出席者	《 構 成 員 》 田浦副町長、北川総務課長、尾崎町民生活課長、岡崎保健福祉課長、 早川建設水道課長 5 名 《 庶 務 》 石田主幹、深山主査 2 名 合 計 7 名		
内 容	下記のとおり		

開 会

議長あいさつ (田浦副町長)

- ・ 前回の会議で追加された新規の投資的事業やソフト事業について、事業評価(事前評価)[試行]を行った。
- ・ また、評価結果で指示した整理すべき課題については、議長として、随時、各担当課からヒアリングを行い、方向性や事業費を精査した。
- ・ 追加の投資的事業や事前に処理すべき義務的経費の事業が追加され、前回会議で事前評価を行ったが、予算編成の流れについては、まだまだ全体として理解されていない。

1 平成 20 年度上富良野町総合計画実施計画策定に伴う 要望事業について

- (1) 要望事業について
- (2) 事務事業評価(事前評価: 追加分)について

[庶務から資料により説明]

- ・ 追加された事業と、評価で課題整理を指示された事業の追加要素を反映し、総括表としてまとめている。
- ・ 12月3日予算入力まで各事業の事業費精査が行われており、要望事業の集計時点は、4月1日当初、10月17日調査、11月27日現在(本日)でそれぞれ表記している。
- ・ 調整交付金事業は、H20交付金を100,000千円と見込んで、既存の計画事業での年次位置付けと充当配分の素案としてまとめているが、H21事業を前倒している事業は、実施に向けての課題整理が必要である。

[協議内容(全体)]

- ・ トイレ改修事業について、調整交付金事業の対象内外の整理が必要である。
- ・ スクールバス更新事業は、現行スクールバスと定期路線の運行に支障のない規模とすることや、目的外使用の実態を把握し、目的外使用の対応の将来像を示した中での更新位置づけとされたい。
- ・ 教育用コンピュータ整備は、コンピュータの状況が同じ学校で、どの学校を優先的に整備するかを検討が必要である。
- ・ 給食センター調理機器更新は、広域連合での協議を踏まえた適切な更新であるべき。
- ・ 生活路線の道路整備について、調整交付金事業の可能性や整備計画を検討すること。
- ・ ソフト事業として提出された事業の中に義務的経費が含まれており、町長の政策予算枠を圧迫している状況であるので、予算編成の流れや仕組みについて、組織の共通理解が必要である。
- ・ 各事業の実施については、議論を重ねて、事業評価の仕組みをより現実的なものとしなければならない。

[総括]

- ・ 整理課題について報告がない事業については、報告後、随時、説明を受けていくが、全ての事業の課題整理や事業費精査について、最終的には予算査定で詰めていく。